

2018年11月

## 11.2 NHK、音声ファイルの入手先記したメールを誤送信と発表

NHKは、札幌放送局のディレクターが、オウム真理教から名前を変えたアレフに対し、住民インタビューの音声ファイルを手に入れる情報が入ったメールを誤送信したと発表した。10日には、NHKの業務委託先のディレクターが、放送素材を手に入れる情報が入ったメールを第三者に誤送信したことも明らかになった。NHKは関係者に謝罪するとともに、ファイルの共有を指定のシステムに限定するといった再発防止策を公表し、関係の職員8人を停職や出勤停止、減給などの懲戒処分にした。

## 11.3 「大阪チャンネル」、各地方民放の番組も配信

NTTぷららと吉本興業の運営で、関西の民放10局が制作した番組を配信している「大阪チャンネル」に、北海道や沖縄など各地方の民放12局が加わり、バラエティー番組などの配信を開始した。「大阪チャンネル」の名称は変わらない。

## 11.3 NHKアーカイブスのアナログレコード特集放送

かつて放送で使用し、NHKアーカイブスに保存されている34万枚のアナログレコードの中から珍しい音源を紹介する5時間45分の番組『今日是一日“川口アーカイブス・レコード”三昧』が、NHK-FMで生放送された。桑田佳祐が1981年、“嘉門雄三”の名で歌ったときの音源など、42曲が流された。

## 11.7 「杉原千畝」特集のCBC番組、BPOが「名誉毀損はない」の「見解」

（「メディア・フォーカス」参照）

## 11.14 Inter BEE 2018開催、新4K8K衛星放送や5G・IP配信対応のコンテンツに注目

（「メディア・フォーカス」参照）

## 11.14 YouTube、日本でも有料サービスを開始

Googleの傘下で、無料の動画配信サービスを

展開するYouTubeが、新たに有料プランを導入した。アメリカやオーストラリアなどではすでに始まっているサービスで、広告なしで動画を再生できたり、YouTubeが手がけるオリジナルコンテンツを視聴できたりする。料金は月額で、WebブラウザとAndroid版が1,180円、iOS版が1,550円。

## 11.15 『イッテQ!』の“やらせ疑惑”問題、日本テレビ社長が会見で謝罪

日本テレビのバラエティー番組『世界の果てまでイッテQ!』で、タレントが参加する海外の祭りを番組側がセットしていたとする“やらせ”疑惑が報じられた問題で、日本テレビの大久保好男社長は会見で局側の放送責任を認めて謝罪し、問題のお祭り企画は当面休止すると発表した。1週間前には「番組が企画したり、セットや賞金を渡したりした事実はない」というコメントを出していた。

## 11.19 生放送の字幕を自動生成スマホに配信、民放24局で実験

（「メディア・フォーカス」参照）

## 11.26 BS日テレ、4K放送開始を2019年9月に前倒し

BS日テレは、4K放送の開始時期について、当初の2019年12月1日から3か月前倒しし、9月1日にすると発表した。同年9月20日に開幕するラグビーワールドカップの国際映像の4K制作が決まったことなどから、開始を早めた。

## 11.27 NHK、受信料の値下げ幅について

2018年度の受信料収入（見込み）の4.5%程度と発表

NHKは、2019年10月の消費増税時に受信料額を据え置き、2020年10月から地上契約と衛星契約を2.5%値下げすることを、会長会見で明らかにした。契約者にとっては、地上契約が月額59円、衛星契約は月額102円の値下げ、NHKにとっては、2018年度の受信料収入の4.5%程度の減収になる。

## 11.30 総務省、NHKの常時同時配信実施のための制度整備を行う方向へ

（「メディア・フォーカス」参照）